

新緑ウォーク 2014.4.26.

JR日野春駅→白州キャンプ場 12km

『あおぞら共和国』を支援するチャリティーウォーキングに参加しませんか？

「あおぞら共和国」の建国の為のチャリティー活動として2013年4月28日に第一回「新緑ウォーク 葦崎-白州キャンプ場 22km」を実施しました。およそ80人の方々が参加してください、22kmという長距離を一人の落伍者もなくゴールの白州キャンプ場にきました。勿論キャンプ場では完歩を祝って皆で乾杯しました。ウォーカー達は用意された軽食をつまみながらビールやワインを飲みながらお互いの健闘を称え合いました。そして「あおぞら共和国」の建設現場を見学し、寄付をして下さいました。めったにない快晴となり、萌えるような新緑の中、後ろは残雪豊かな富士山、左手には鳳凰三山から甲斐駒ヶ岳に続く南アルプスの雪の稜線、そして右手には八ヶ岳連峰という絶景の中、素晴らしいウォークとなりました。



白州は、首都圏からも近く交通の便も良いところです。3000m 級の高峰に囲まれ、豊かな水に恵まれ、さらには日本一の日照時間という明るく美しい土地です。左写真は昨年の新緑ウォークの際に撮ったプロジェクトの実行委員の記念写真です。白州は正に山紫水明の地であることがお解りになりますか？ この地で、難病の子ども達とその家族が心ゆくまで、自然の中で暮らし遊ぶ姿を思い描いて下さい。皆さんと一緒に歩くことで「あおぞら共和国」の意義を共有したいと願っています。

「あおぞら共和国」建設を支援する「新緑ウォーク JR日野春-白州キャンプ場 12km」(2014年4月26日)に参加しませんか？ 昨年度の新緑ウォークは大成功でしたが、より多くの方々に参加していただく為に、今年度から眺めの良い核心部を歩く12kmのコース(日野春駅～白州キャンプ場)に短縮します。地図のように、日野春駅改札口を10時15分に出発し、およそ12kmを歩いて白州キャンプ場が終点となります。4時間の予定でゆっくり歩きます。東京方面の方も出発に間に合うと思います(新宿08:00<スーパーあずさ5号>09:28甲府09:32<各駅停車>09:59日野春)。終点の白州キャンプ場で完歩祝いパーティーを楽しみ、建設現場を見学して解散です。歩きながら「あおぞら共和国」に協力しようという人達が絆を結び、それぞれに合った支援方法を考える良い機会になると思います。今年から、恒例行事として毎年4月最後の土曜日に「新緑ウォーク JR日野春-白州キャンプ場」を開催しますのでどうか参加してください(来年2015年は4月25日に開催します)。参加希望あるいはご質問のある方は以下の実行委員までメールにてご連絡下さい。参加人数を把握したいので出来るだけ、下記のメールに

事前申込をお願いします。
大雨など悪天候の場合は中止しますが、不安な場合はメールにてお問い合わせ下さい。

新緑ウォークの詳細は
おぐちこどもクリニックHPをご覧ください。
<http://oguchi-ped.cside.com/walk.pdf>

連絡先 新緑ウォーク実行委員
小口弘毅 ogu-ped@chive.ocn.ne.jp
田伏純子 yaasebuta@clock.ocn.ne.jp



第3回「みんなのふるさと夢プロジェクト」支援チャリティウォーク案内

開催日：2014年4月26日（土曜日）

主催：「みんなのふるさと夢プロジェクト」支援チャリティウォーク実行委員会 委員長 小口弘毅

参加者：甲府第一高等学校同窓会、クリニック関係者（約100名） 代表 田伏純子

認定NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク（約25名） 代表 仁志田博司

「みんなのふるさと夢プロジェクト」に共感する人たち

1、ウォーク・スケジュール

JR 日野春駅 集合、出発時刻は 10:15⇒牧原交差点 (2.7km、目標時間 10:45) ⇒水車公園 (3.8km、目標時間 11:15、12:00 まで休憩、昼食、トイレ) ⇒尾白川橋先旧道入り口 (6.0km、目標時間 12:45) ⇒七賢酒造 (8.1km、目標時間 13:15、13:45 まで休憩、トイレ) ⇒前沢交差点 (10.5km、目標時間 14:15) ⇒白州「あおぞら共和国」キャンプ場ゴール！ (11.8km 目標時間 14:30)

チャリティウォークですので、参加費はいただきませんが、ゴールにて寄付をお願いします。

到着後に 15:00 から 24 時間テレビのエコシステム贈呈式を行います。贈呈式終了後に完歩祝いパーティーを開始します (15:30～16:30)。軽食、ビール・ワインを提供します。新倉壮郎君のアフリカソング演奏など 1 時間くらいを予定しています。どうか新緑の中、楽しく歩いて、完歩祝いパーティーを楽しんでください。ゴールで建設中のキャンプ場を見学し、協賛のお気持ちを会場に設置してある募金箱にご寄付を頂ければ幸いです。また今回は寄付の一方法としてテラス用ボードにお名前を書いていただき、6000円以上/1枚の寄付をお願いしたいと思います。「あおぞら共和国」の山小屋は 2 棟ペアとして大きなテラスで繋ぐ予定なので、寄付していただくボードが多数必要となります。

2、往復路の案内

白州「あおぞら共和国」キャンプ場から小淵沢駅への公共交通機関はありません。キャンプ場から小淵沢駅まで皆様のピストン輸送を北杜タクシー (0551-32-2055) をお願いしてあります。ジャンボタクシー 2 台 (8 人乗り、1 台は車いすを乗せられます) が 15:00 くらいにキャンプ場脇に待機し、希望者を小淵沢駅に送ります (料金は利用者割り勘でお願いします)。このようなスケジュールなので時間にゆとりを持って帰りの電車 (疲れるでしょうからなるべく特急券と指定席の予約をお勧めします) の予約をお願いします。急ぐ方は、午前中に北杜タクシーのタクシー予約をご自分でお願いします (ジャンボタクシー以外に 8 台のタクシーがあります)。予約する際に「あおぞら共和国」のチャリティウォークに参加していると教えてください。

JR 日野春駅まで車で来て参加する方へ：正式な駐車場は日野春駅周辺にはありません。しかし駅近くに公園「オオムラサキセンター」があり広い駐車場があります (日野春駅から徒歩 10 分)。ここに駐車する事は可能と思います。キャンプ場から小淵沢までは上記のように戻って、日野春駅で下車して車で帰る方法があります。

3、ウォークの際の注意事項

* 水分補給とトイレ：暑くなる事も予想されます。水分補給を十分にしてください。トイレは水車公園、七賢酒造にあります。昼食、飲料水などは暑くても傷みにくいものを持参ください。日野春駅には店はないのでご注意ください。

* 交通安全：参加希望の方にメールにて小口 (ogu-ped@chive.ocn.ne.jp)、

あるいは田伏 (yaasebuta@clock.ocn.ne.jp) に申し込むようお願いしてありますが、予約なしの参加者も多いと思われ、参加人数は予測できません。100 人を超える事も想定しています。多い場合には、どうか各自交通安全に気を配って歩いてください。日野春駅から、およそ 10 人ずつのグループに分かれて、各グループのチームリーダーを決め数分の時間差で出発します。リーダーはメンバーの歩行ペースや体調などに気を配って、安全なウォークをするように努力してください。全行程のほとんどは旧道や農道を利用しますが、歩道のないところがほとんどなので、横に並ばずに縦に連なって歩いてください。交通量は少ないのですが、暴走車もありうるので、右側通行を敢行して下さい。何度か国道 20 号線など比較的広い道の横断がありますが、信号のないところでは左右を良く見て完全な車の切れ目で横断してください。

* 体調不良時の対応：ウォークの途中、不安に思ったり、足などに痛みを感じたり、不調となった時は、無理せずリタイアしてください。休憩も各自の判断で自由に休んでください。リタイアしたり、皆から遅れて休憩する時は、田伏、小林までケータイで連絡して下さい。ウォーカーの中には医師・看護師もいますので相談ください。

* バンドエイド、消毒薬、カーゼなどは最後尾の田伏、小林が持っていますので声をかけてください。

* 歩き方：大人数ではそれぞれの歩くペースが違います。ウォークはゆっくり歩くようにしますが、無理して他の人のペースに合わせないで、ご自分のペースで歩いてください。早い人のペースに合わせると消耗してしまうのでご注意ください。

4、緊急連絡先：一高同窓生は小口 (090-2751-6789) あるいは田伏 (080-6720-7569) 毎年、4 月の最後の土曜日に開催します (2015 年は 4 月 25 日)。歩行中に雨が降っても良いように雨具の用意はしっかりしてください。体調を整えて参加して白州の美しさを満喫して下さい。そして難病ネットからの参加者と「みんなのふるさと夢プロジェクト」について語り合ってください。



JR 日野春駅
出発
10/2/16

急な下り

釜無川を渡り大正5橋

大正5橋

有吉野又交点
(20号線を横断)

静かな農道

木津の西学
美しい公園 (小川あり)

武川朱あじろ"117
提佐!

又又又
越えり短走!

終点の
"おぼろげ芝草園"
下2ア場

元甲州街道の宿場
台町 (七聖酒蔵あり)

白州の「あおぞら共和国」建国に協力下さい!

外の世界を知らないで育っている難病の子ども達を 自然の中に連れ出すお手伝いをお願いします。

全国で25万人以上の子ども達が、難病あるいは重篤な病気と闘っています。認定NPO法人「難病の子ども支援全国ネットワーク」(以下難病ネット)では、そうした子ども達と家族、それを支える小児科医など様々な立場の人々が共にネットワークづくりを目指しています。20年以上にわたって、難病ネットは様々な分野で子ども達と家族のQOLを高める活動に取り組んでいます。難病ネットの活動の柱の一つに、毎年全国各地で開催しているサマーキャンプ「がんばれ共和国」があります。このサマーキャンプは全国7カ所(北海道から沖縄)で開かれ、子ども達(車いすの子、寝たきりの子、さらには重症児で呼吸器が必要な子まで、重症度は様々です)と家族が各地の国民宿舎などの保養施設におよそ1000人が集います。普段家に籠りがちな子ども達は、様々な野外活動(乗馬、カヌー、気球に乗る)やバーベキューなどを楽めます。わずか数日のキャンプ生活で子ども達は見違えるように元気になり、豊かな感性が育まれます。次第に難病ネットにとって、常設キャンプ場を造る事が悲願となりました。このような経緯の中、ある篤志家が偶然にも美しい山々に囲まれた北杜市白州町の広大な3000坪の山林を難病ネットに寄付してくれました。

「みんなのふるさと夢プロジェクト」の“夢”は少しずつ実現しています!



難病ネットの悲願を実現する為に、2011年7月に「みんなのふるさと夢プロジェクト」実行委員会を結成し、白州の地に常設キャンプ場の建設を目指すことになりました。私達が思い描いている夢は、難病の子ども達が木立に囲まれた山小屋に寝泊まりし、小鳥のさえずりを聞き、動物と遊び、風のそよぎを感じて、夜は星の瞬きに見入る事です。難病の多くは、life-shortening illnessとも言われます。だからこそ、病気の為に生き生きとした子どもらしさを失って欲しくありません。家と病院の往復だけでなく、白州の「あおぞら共和国」で両親、兄弟共に非日常の体験を一杯して、仲間作りをしてもらいたいと思います。全国から、そして山梨県生まれの子ども達が利用して、白州が子ども達にとって第二のふるさとになるでしょう。

募金活動を開始すると同時に、大規模開発の複雑な申請手続きをクリアし、森林伐採、整地を行い、2013年9月から第一棟目の山小屋建設が始まっています。全体構想をお示ししますが、大きな広場をグルッと囲むように、二つの山小屋を共通のテラスでつないで一つのユニットにし、3つのユニットを配置して、中心に大きなテラスを持ったセンター棟を配置します。小屋群で囲まれた円形の庭(直径40m)、そしてテラスで兄弟家族がゆったりとした時間を過ごすことでしょう。世界初のこどもホスピスとして知られるオックスフォードのヘレンダグラスハウスの創設理念“*It is not how long the life is, but how deep*”は私達の思いでもあります。私達は子ども達に、家族と共に充実した生を生き抜いて欲しいと願っています。プロジェクトの全てが完成するまでに最短でも5年を要し、多額の資金が必要になる事をご理解いただき、資金面のご協力を含めてご支援をお願い致します。数年後にはキャンプ場は難病の子ども達と家族の桃源郷になることでしょう。私達の願いはただ一つ、白州に建てられるこの桃源郷で難病の子ども達に“生きる喜び”をたくさん味わってもらおうことです。



このような壮大な全体構想図をご覧になった方は、この時勢に無理と思われることでしょう。しかし、“一步踏み出した時点で、夢は必ず叶う”と私達は信じています。プロジェクトは夢から実体のあるものへ変わったので、難病ネット会員の話し合いで「あおぞら共和国」と名称変更しました。

小口弘毅

詳細はおぐちこどもクリニックHP(<http://oguchi-ped.cside.com/yume/aozora.pdf>)をご覧ください。

寄付については難病の子ども支援全国ネットワークHP(<http://www.nanbyonet.or.jp/yumeproject.html>)をご覧ください。